



取締役頭取

大城 勇夫

GREETING ごあいさつ

皆様には、平素より、琉球銀行をご利用、お引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。本年も、多くの皆様に琉球銀行をより一層ご理解いただくために、「2005年版 琉球銀行の現状」(ディスクロージャー誌)を作成いたしました。

国内経済は、足元では一部に弱い動きが続き、回復が緩やかになっておりますが、先行きについては、企業部門の好調持続や世界経済の着実な回復に伴い、底堅く推移するものとみられます。金融面では、大手行の不良債権問題が概ね終結し、金融システムの課題が「安定」から「活力」へと移行する中、地域金融機関には地域経済の活性化に向けたより一層の取り組みが求められております。

琉球銀行においては、企業部門の資金需要低迷、金融改革の進展に伴う競争激化といった環境の中、経営健全化計画の着実な履行に向けた収益力の向上ならびに健全性の確保に向け、平成17年4月より新中期経営計画「Leap2005」(飛躍2005 平成17年4月～平成22年3月)を開始しました。新計画は、当行が地域のお客様の金融に関わる課題解決のために、従来の銀行業務の枠を超えて最適なサービスを提供していくことで、地域とともに持続的な成長を目指すものです。

琉球銀行は、新計画に掲げる諸施策に全力で取り組み、競争力に優れた収益性の高い銀行、地域のお客様から信頼される銀行、すなわち「まかせてバンク」を実現することで、諸課題に適切に対処してまいります。

平成17年7月